

# 特定電気用品適合性検査手数料の算出方法

特定電気用品適合性検査手数料にあつては、以下の「試験料＋設備確認料」の合算額とします。

## 1. 試験料

「品目別標準試験料＋部品試験料」の合計額<sup>※1</sup>

※1：定格が2以上のもの（例：50/60Hz）にあつては、品目別標準試験料の1.2倍（配線器具にあつては1.3倍）の額とします。また、技術上の基準を定める省令の解釈別表第十二（旧省令2項）を適用する場合は、試験工数に応じて見積もった額とします。

## 2. 設備確認料（工場毎）

現地確認料 又は 書面確認料

### ● 差込プラグ（125V、15A、ビニルコード一体成形品）の手数料の例

（単位：円）

試験料 <sup>①</sup>		設備確認料 <sup>②</sup>		費用概算 <sup>①+②</sup>
品目別標準試験料	部品試験料	現地確認料	書面確認料	
85,000	201,000 <sup>※2</sup>	72,000＋旅費	－	例1：358,000＋旅費
85,000	201,000 <sup>※2</sup>	－	12,000	例2：298,000
85,000	－ <sup>※3</sup>	72,000＋旅費	－	例3：157,000＋旅費
85,000	－ <sup>※3</sup>	－	12,000	例4：97,000

※2：ビニルコード（無表示品）の場合／※3：ビニルコード（◇PSE表示品）の場合

### ● 観賞魚用ヒーター（単相、100V、20W、自動温度調節器あり）の手数料の例

（単位：円）

試験料 <sup>①</sup>		設備確認料 <sup>②</sup>		費用概算 <sup>①+②</sup>
品目別標準試験料	部品試験料	現地確認料	書面確認料	
119,000	21,000 <sup>※4</sup>	72,000＋旅費	－	例1：212,000＋旅費
119,000	21,000 <sup>※4</sup>	－	12,000	例2：152,000
119,000	93,000 <sup>※5</sup>	72,000＋旅費	－	例3：284,000＋旅費
119,000	93,000 <sup>※5</sup>	－	12,000	例4：224,000

※4：自動温度調節器（CMJ登録品）の場合／※5：自動温度調節器（CMJ未登録品）の場合

以上